

メッセージ4 神の相続人

聖書：ガラテヤ 3:29, 4:7, ローマ 8:17, エペソ 1:18, テトス 3:7

子供 子 相続人	ガラ 3:29 そして、あなたがたがキリストのものであるなら、アブラハムの子孫であり、約束による相続人なのです。 ガラ 4:7 ですから、あなたはもはや奴隷ではなく子(son)です。またもし子(son)であるなら、神を通して相続人でもあるのです。 ローマ 8:17 そしてもし子供(children)であるなら、相続人でもあります。すなわち、わたしたちが彼と共に栄光化されるために、彼と共に苦しむなら、わたしたちは神の相続人であり、またキリストと共同の相続人です。 テトス 3:7 それは、その方の恵みによって義とされたわたしたちが、永遠の命の望みにしたがって、相続人となるためです。
嗣業	エペソ 1:18 あなたがたの心の目が照らされ、神の召しの望みがどんなものであるかを、あなたがたが知るように。また聖徒たちの中にある神の嗣業の栄光が、どんなに豊富であるかを知るように。

MSG4 神の相続人			
I	相続人とは、他の人の死に際して、その財産、資産、称号を法的に相続する権利を持つ人です		
II	「相続人」の文字どおりの意味は、「相続を受けるよう任命された者」です		
III	信者は相続人となります：	A-C	永遠の命の望みにしたがって(テトス 3:7)
IV	聖書において、相続人は財産を合法的に受ける者です	A	キリストにある信仰を通して神の家族に生まれる
		B-D	財産を相続する
V	「神の相続人」に関する聖書のかぎとなる節	A	ローマ 8:17、キリストと共同の相続人(条件)
		B	ガラテヤ 4:7、神を通して相続人でもある(手段)
		C	ガラテヤ 3:29、約束による相続人(領域)
VI	神の相続人という信者の身分	A-E	神の相続人となり嗣業を受け継ぐ
		F-K	神の嗣業となる

日	段落、流れ	主題	要点
1	意義	相続人の意義と相続人となること	相続を受けるよう任命された者 信者は相続人となります
2	主要な聖書の節	神の相続人となる条件	子供(children)は成長して子(son)となります 子は苦しみを経過し栄光を受け、相続人とされます
3	ローマ 8:17 ガラテヤ 4:7 3:29	神の相続人となる手段と領域	神を通して相続人となる 約束によって相続人となる
4	相続人となる	信者は神の相続人としての身分で嗣業を受け継ぐ	神の相続人としての信者の身分において嗣業を受ける 嗣業を受ける
5	嗣業を受ける	神の相続人が嗣業を受ける	三一の神ご自身 キリストと共に栄光化される
6	嗣業となる	神の相続人が神の嗣業となる	神聖な嗣業を享受することで、神の嗣業となる 神の嗣業は聖徒たちの中にある

結びの言葉
共に苦しみを受け、共に栄光化される
わたしたちの嗣業としての神を受け継ぐ
わたしたちが神の嗣業となる

メッセージ4 神の相続人

聖書：ガラテヤ 3:29、4:7、ローマ 8:17、エペソ 1:18、テトス 3:7

相続人の定義、意義

- I. 相続人とは、他の人の死に際して、その財産、資産、称号を法的に相続する権利を持つ人です。
- II. 「相続人」の文字どおりの意味は、「相続を受けるよう任命された者」です。

相続人となる

III. 信者は相続人となります：

- A. わたしたちは再生を通して更新され、神聖な本質を受けているので、わたしたちはまた神の相続人、すなわち永遠の命の望みにしたがって(テトス 3:7)、父なる神の財産を相続する資格のある者とされました(ローマ 4:14、8:17、ガラテヤ 3:29、4:7)。
テトス 3:7 それは、その方の恵みによって義とされたわたしたちが、永遠の命の望みにしたがって、相続人となるためです。
ローマ 4:14 もし律法による者が相続人であるとするなら、信仰はむなしくなり、約束も無効になります。
- B. 永遠の命は、この時代におけるわたしたちの享受であり、来たるべき時代におけるわたしたちの望みです。それは、わたしたちがこの時代に神を生きて享受するためだけでなく、来たるべき時代と永遠において、神がわたしたちにとって何であるかのすべての豊富を相続するためでもあります。ですから、わたしたちは永遠の命の望みを持っています。
- C. この望みにしたがって、わたしたちは神の相続人とされており、永遠にわたって彼のすべての豊富を相続します。

IV. 聖書において、相続人は財産を合法的に受ける者です：

A. キリストにある信仰を通して神の家族に生まれる

- A. 神の相続人は、キリストにある信仰を通して神の家族に生まれ、神からの約束あるいは相続を受ける者です。

B-D 財産を相続する

- B. 「神の相続人」は、永遠の命、神の王国、霊的な祝福を相続することを表徴しており、しばしばキリストと共同の相続人として述べられています。
- C. 聖書において、相続人は嗣業を受ける者であり、通常は父の財産、権利、責任を受け継ぐ息子、あるいは指定された親族です。
- D. 霊的には、相続人は神の家族に生まれた信者を指しています。彼らはキリストと共同の相続人として、救いの約束、永遠の命、神の王国を受けます。

V. 以下の節は、「神の相続人」に関する聖書のかぎとなる節です：

ローマ 8:17、キリストと共同の相続人(条件)

- A. 「もし子供であるなら、相続人でもあります。すなわち、わたしたちが彼と共に栄光化されるために、彼と共に苦しむなら、わたしたちは神の相続人であり、またキリストと共同の相続人です」—ローマ 8:17：

条件：命の成長と苦難を経過すること

1. これは、わたしたちが相続人となるためには条件があることを見せています。
2. わたしたちが相続人であるのは、わたしたちが単に神の子供たちであるからではありません。
3. むしろ、子供たちとして産まれた後、わたしたちは命において成長して子たちとならなければなりません。また栄光化されて合法的な相続人となるために、わたしたちは苦難を経過しなければなりません。

B-C、神の相続人となる手段と領域

ガラテヤ 4:7、神を通して相続人でもある(手段)

- B. 「あなたは……子です。またもし子供であるなら、神を通して相続人でもあるのです」—ガラテヤ 4:7：

1. 新約の信者は、もはや律法の下で働く奴隷ではなく、恵みの下にある命における子です。

2. 新約の信者が神の相続人となるのは、律法を通してではなく、彼らの肉体的な父を通してでもなく、神、すなわち三一の神を通してです。御父は、御子とその霊を遣わしました (4、6 節)。御子は、子たる身分のための贖いを成し遂げました (5 節)。その霊は、わたしたちの内側で子たる身分を遂行しています (6 節)。

ガラ 4:4 しかしその時が満ちて、神は御子を遣わし、一人の女から生まれさせ、律法の下に生み出されました。

ガラ 4:5 それは彼が、律法の下にある者たちを贖うためであり、その結果、わたしたちが子たる身分を受けるためでした。

ガラ 4:6 そして、あなたがたは子たちであるのですから、神はわたしたちの心の中へ、「アバ、父よ！」と叫ぶ御子の霊を遣わされたのです。

ガラテヤ 3:29、約束による相続人(領域)

C. 「あなたがたがキリストのものであるなら、アブラハムの子孫であり、約束による相続人なのです」—3:29:

1. アブラハムの子孫になるために、わたしたちはキリストのものでなければならず、キリストの一部にならなければなりません。
2. わたしたちはキリストと一であるので、アブラハムの子孫、約束による相続人であって、神の約束された祝福、すなわち、手順を経た神の究極的な完成であるすべてを含む霊を、わたしたちの分け前として受け継ぎます。
3. 新約の下で、神の選ばれた人々である信者たち、成人した子たちは、このような相続人であって、彼らは律法の下にいるのではなく、キリストの中にいます。

神の相続人という信者の身分

VI. 今、わたしたちは神の相続人という信者の身分について考えます:

A-E: 神の相続人となり嗣業を受け継ぐ

* 神の相続人としての身分

A. キリストは万物の相続者であり(ヘブル 1:2)、信者たちはキリストの共同の相続人に運命づけられています。

ヘブル 1:2 これらの日々の終わりには、御子の中でわたしたちに語られました。神は御子を万物の相続者と定め、また御子を通して宇宙を造られました。

B. 救われた後、わたしたちは神の子供たち、神の子たち、神聖な性質にあずかる者、神の相続人です。

C. キリストの共同の相続人という成長した段階に達する時、わたしたちは栄光化されます。

D. 「それは、その方の恵みによって義とされたわたしたちが、永遠の命の望みにしたがって、相続人となるためです」—テトス 3:7:

1. テトス第3章7節の「相続人」は、子たちだけでなく、父の財産を受け継ぐ資格のある相続人を指しています—ローマ 4:14. 8:17. ガラテヤ 3:29. 4:7。

テトス 3:7 それは、その方の恵みによって義とされたわたしたちが、永遠の命の望みにしたがって、相続人となるためです。

ローマ 4:14 もし律法による者が相続人であるとするなら、信仰はむなしくなり、約束も無効になります。

ローマ 8:17 そしてもし子供であるなら、相続人もあります。すなわち、わたしたちが彼と共に栄光化されるために、彼と共に苦しむなら、わたしたちは神の相続人であり、またキリストと共同の相続人です。

ガラ 3:29 そして、あなたがたがキリストのものであるなら、アブラハムの子孫であり、約束による相続人なのです。

ガラ 4:7 ですから、あなたはもはや奴隷ではなく子です。またもし子であるなら、神を通して相続人でもあるのです。

2. そのような相続人は (ヨハネ 1:12-13) 神の永遠の命 (3:16) から生まれます。

ヨハネ 1:12 しかし、すべて彼を受け入れた者、すなわち、御名の中へと信じる者に、彼は神の子供たちとなる権威を与えられた。

ヨハネ 1:13 これらの人は血からではなく、肉の意志からでもなく、人の意志からでもなく、神から生まれたのである。

ヨハネ 3:16 神はそのひとり子を賜わったほどに、世の人を愛された。それは、彼の中へと信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を持つためである。

E. 信者たちは、キリストの復活の中での再生を通して神の相続人となりました—11:25：

ヨハネ 11:25 イエスは彼女に言われた、「わたしは復活であり、命である。わたしの中へと信じる者は、たとえ死んでも生きる。

1. キリストが復活させられた時、わたしたち、彼の信者たちはみなキリストの中に含まれていました。こうして、わたしたちはキリストと共に復活させられたのです—エペソ 2:6。

エペソ 2:6 キリスト・イエスの中で、わたしたちを彼と共に復活させ、彼と共に天上で座らせてくださいました。

2. キリストの復活の中で、彼は神聖な命をわたしたちの中へと分与し、わたしたちを命と性質において彼と同じにしました。

3. これが、神の相続人となるための、わたしたちの再生の基本的な要因です。

F-K:神の嗣業となる—神聖な嗣業(三一の神ご自身)を享受することで、神の嗣業となる

***神聖な嗣業は三一の神ご自身です**

F. 神の相続人としての信者たちの身分において、彼らは光の中ですべての聖徒と共に、彼らの分け前として、キリストの中に具体化された三一の神にあずかります—コロサイ 1:12。

コロ 1:12 光の中で、聖徒たちに割り当てられた分け前にあずかるようにと、あなたがたを資格づけてくださった御父に、感謝をささげるように。

G. 使徒第 26 章 18 節は、キリストにある信仰による、罪の赦しと、聖別された人たちの間での嗣業について語っています。

使徒 26:18 彼らの目を開き、彼らを暗やみから光へ、サタンの権威から神に立ち返らせるのである。それは、わたしにある信仰によって、彼らが罪の赦しと、聖別された人たちの間での嗣業を受けるためである。』

H. この神聖な嗣業は、三一の神であり、彼が持っているすべて、彼が行なったすべて、彼が彼の贖われた民のために行なおうとしていることのすべてを伴っています。

***キリストと共に栄光化される**

I. 神の相続人として、信者たちはまたキリストと共に栄光化されます—ローマ 8:17 後半：

1. キリストは今や栄光の中にいます。

2. 最終的に、わたしたちは栄光の中へともたらされて、キリストと共に栄光化されます。

3. わたしたちが栄光化される時、わたしたちの卑しい体は栄光の体に変貌させられます—ピリピ 3:21。

ピリピ 3:21 キリストは、万物を彼ご自身に服従させることができる彼の活動によって、わたしたちの卑しい体をも変貌させ、それを彼の栄光の体に同形化してください。

4. 種としてわたしたちの内側にある命は、栄光の命です。これは、わたしたちの内にいますキリストであり、栄光の望みです—コロサイ 1:27。

コロ 1:27 神は彼らに、異邦人の間にあるこの奥義の栄光の豊富がどんなものであるかを、知らせたいと願われました。それはあなたがたの内にいますキリストであり、栄光の望みです。

5. わたしたちが栄光の要素をもって飽和され浸透される時、その栄光はわたしたちから出て来ます。これが、神の相続人としてのわたしたちが、キリストと共に栄光化されるという意味です。

***神聖な嗣業を享受して神の嗣業となる**

J. 信者たちが神聖な嗣業を享受することは、神の嗣業となることにおいて完成します—エペソ 1:18：

エペソ 1:18 あなたがたの心の目が照らされ、神の召しの望みがどんなものであるかを、あなたがたが知るように、また聖徒たちの中にある神の嗣業の栄光が、どんなに豊富であるかを知るように。

1. 神の相続人として、信者たちがキリストの共同の相続人であるのは、約束と永遠の命の望みにしたがって、キリストの恵みによる義認とキリストの復活の中での再生を通してです。

***神の嗣業は聖徒たちの中にあります**

2. エペソ第 1 章 18 節は、神の嗣業が聖徒たちの中にあることを示しています。

3. 神の嗣業である者として、わたしたちは聖霊で証印を押されました—13 節。

エペソ 1:13 あなたがたは真理の言、すなわちあなたがたの救いの福音を聞き、また彼の中で信じ、彼の中であなたがたはまた約束の聖霊で証印を押されました。

K. わたしたちを神の相続人としての信者たちに関する真理の中へと深く導き入れてくださったことで、わたしたちは主に感謝します。